

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線42354
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

改善対策届出一覧表

改善対策届出日：平成29年2月21日

改善対策届出番号	517	改善対策開始日	平成29年2月22日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 柳 弘之 問い合わせ先：カスタマーコミュニケーションセンター 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	①原動機（タペットカバーの締め付けボルト） ②原動機（バルブアジャスティングスクリューのナット）		
不具合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	原動機の製造が不適切なため、 ①タペットカバーの締め付けボルトの締め付けが不足しているものがある。そのため、タペットカバーからエンジンオイルが漏れ、最悪の場合、原動機が焼き付き、走行不能となるおそれがある。 ②バルブアジャスティングスクリューのナットの締め付けが不足しているものがある。そのため、バルブクリアランスを正常な状態で保てず、バルブが適切に開かないため、加速不良及び、異音が発生するおそれがある。		
改善対策の内容	①全車両、タペットカバーの締め付けボルトを確認し、緩んでいるものは正規に締め付ける。 ②全車両、バルブアジャスティングスクリューのナットを確認し、緩んでいるものは正規に締め付ける。		
不具合件数	①3件 ②1件	事故の有無	①なし ②なし
発見の動機	①市場からの情報による ②市場からの情報による		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、その旨を点検整備記録簿に記載する。 		

車名	型式	通称名	改善対策対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	改善対策対象車の台数	備考
ヤマハ	EBJ-SEA5J	「シグナスXC125SR」	SEA5J-012432～SEA5J-013600 平成28年7月21日～平成28年10月19日	123台	①②
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成28年7月21日～平成28年10月19日	(計123台)	①123 ②123

【注意事項】

改善対策対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。